

うまたむし!?!な福岡高校!!

福岡高校生徒会

「うまたむし」と聞いたら、何だと思いませんか？ 新種の虫かなあ？ うまとむし？ どんなこと考えますか。

『騒』

「福岡高校の生徒会や行事って、いい意味で、騒がしいよね!!」ある生徒会長がつぶやきました。

「世界がどんな状況でも学校がワクワクする場所に、この状況下だからこそできることに、楽しみながらフォーカスできるようなチームでいよう。」その思いから、福岡高校の生徒会活動を表すと、『うまたむし』となります。チームを構成するのは、一人一人です。騒 = 馬+又+虫 愛が溢れ、チームや個人の活気を感じることができる言葉です。それでは福岡高校の「ワクワクうまたむし」な活動を紹介していきます。

体育大会

今年の体育大会を一言であらわすと「つながり」でした。コロナ渦だからこそ工夫して楽しみ、本気になれる活動を企画しました。私たちの今の状況である、「努力が報われる」「静かな思い」を表現している花があります。知っていますか。それはネコヤナギとユキヤナギという花です。その花言葉を形どり、福岡高校に1人1人の花を咲かせることからスタートしました。



各団ごとに1人1人の体育大会に向けた花びらに表現し、玄關にきれいなネコヤナギが咲きました!

直接話しあうことはできなくても、どんな状況でも自分の出来ることにフォーカスする、花をヒントにした「〇〇ヤナギ大作戦」は本気になれる大きなきっかけを与えてくれました。マスク越しに溢れる笑顔や涙が多く感動を生み、「制限」があるからこそ、知恵やイメージが膨らみ、「つながり」ができた時間でした。



文化部発表Week

休み時間や放課後を使って、文化部や芸術選択者の活躍を共有する期間を設けました。筆跡から感じる勢い、発表から感じる一体感、新しい発見、全てに福岡高校生のエネルギーが溢れていました。互いの活動から、そのよさや違いを認め合い、それぞれがもつ「個性」を大切にできる学校につながった期間となりました。



～つながり～

福岡高校生は「つながり」を大切にしようとする個の集団です。行事の企画、運営はほとんど生徒会執行部が主体的に実践します。その際に大切にしていることが、目的です。「自律・実践・創造」、全ての活動の目的の一つにこの校訓があります。状況下に合わせたルール、実際にやってみてチャレンジし創造を繰り返すこと、生徒達は、挑戦する楽しさを感じていきます。はじめは、細くて切れそうなつながりでも、何度もアクションを起こすことで、学校全体が活気溢れ、夢を追う環境になります。紹介したい活動はまだたくさんありますが、ともに学び、ともに語らい、夢を見つけ、夢を追いませんか。入学生のみなさんとつながれること楽しみにしています!!



2 学年研修旅行にて「曼荼羅遊園」



球技大会にて「よしくぞう!!」



体育大会応援にて「整然とした隊列」



研修旅行にて「橋の上でハイチーズ!!」



定期演奏会にて「いよいよフィナーレへ!!」



体育大会宣誓にて「つながり」